

湯河原ロータリークラブ



WEEKLY REPORT

世界へのプレゼント になろう

第 2603回 例会
平成27年10月2日(金)
天候 くもり
合唱 君が代
奉仕の理想
四つのテスト

会長 佐藤 泰文

幹事 山本 明峰

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716

例会場 静岡県熱海市泉 107 ニューウェルシティ湯河原

TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

【ロータリーの友の一節】

今年度の国際ロータリー(RI)のテーマは「Be a gift to the world」です。素晴らしい言葉で日本人でもよくわかる英文です。RI テーマは命令形が多いのですが、今回も「あなたたちロータリアンは、すべからず、世界のギフトとなりなさい」というはっきりした行動を促すものです。私たちロータリアンも、日々のロータリー活動に、ますます新しい意欲と勇氣と希望が持てるというものです。

ただ、言葉はわかりやすいものの、言葉の意味に多少の難しさは残ります。「ギフト」は贈り物には間違いないのですが、「プレゼント」とは違って「神からの贈り物」という特別な意味を持っています。

もう一つ、ギフトには、神から授けられた「才能」という意味もあります。才能だけでなく、人間だけが持つ特別な愛の感情や感性、すなわち、憐れみの心や友情や正義の精神なども神から贈られたギフトです。ラビンドラン RI 会長は、私たちに「愛と知恵を持って世界中の人のために、全身全霊を込めて、尽くしなさい」と言っているのです。

同じ贈り物でも、「ギフト」と「プレゼント」では、内容は全く違います。「ギフト」はモノではなく、心と知恵です。「プレゼント」は、誕生祝いや結婚祝いの時計であり、チョコレートであり、お金であって、すべてモノです。

この RI テーマを、日本では「世界へのプレゼントとなろう」と、わかりやすく訳しています。「心か、モノか」、「ギフトかプレゼントか」についてロータリアンの同志の仲間で、健全な討論がなされることを期待しています。

幹事報告

ガバナーより

1. クラブ研修リーダーセミナー開催のご案内

日時：11月18日(水)14時~18時30分

場所：藤沢商工会館ミナパーク

対象者：会長以外・クラブ研修リーダー

登録締切：10月23日(金)必着

2. 「職業奉仕月間」卓話者派遣について

卓話者の派遣を希望されるクラブは11月27日までに回答下さい。

連絡事項

1. 次週は、山もみじの下草刈りです。10時現地集合ですので宜しくお願い致します。

スマイルBOX

会員誕生日 伊藤伸之君(10/11)

結婚記念日 石田浩二君(9/21)

杉山茂久君(10/4)

神谷一博君(10/10)

夫人誕生日 望月博文君(充様・10/12)

入会記念日 石田浩二君(4年・H23.9.2)

石田浩二君 9/16よりサンルート栃木の運営を開始致しました。お近くにお寄りの際にはぜひご利用下さい。栃木西RCの例会場にもなっています。毎週火曜日です。

石田浩二君 9月中は出席できずに申し訳ございませんでした。メイキャップをすべてしております。

出席報告	ゲスト 0名	ビジター 0名	会員 23名
	欠席 6(免除者 2名)		出席率 80.95%
	前回の修正出席率 77.27		前々回の修正出席率 91.67%

事前メイクアップ 1名

「地熱発電」

再生可能エネルギーとして新たに注目を集めているのが地熱発電です。ほかの発電方法と比べるとまだメジャーとは言えませんが、エネルギー資源の少ない日本においては水力と同様に貴重な純国産エネルギー資源として知られています。

【発電の仕組み】

地球の内部で生成され、そして蓄えられている地熱をエネルギー源として発電します。地熱によって発生した天然の水蒸気を用いてタービンを回し電力を作るという仕組みをとっています。冒頭の通り、純国産エネルギーであることや、二酸化炭素の排出量が少なく環境に優しいなどといった特徴があります。

地熱は火山活動のあるところに生じやすいので、日本では火山の多い東北地方や九州地方に地熱発電所が集中しています。ちなみに地熱発電で最も多くの電気を生み出している国はアメリカです。カリフォルニアやハワイなどが中心となっています。

【メリット・長所】

地熱発電のメリット・長所を箇条書きにまとめてみました。なんととっても最も優れているメリットは環境性能です。蒸気を発生させるのに化石燃料を必要としないため、二酸化炭素の排出量がとても少ないです。また、火山がたくさんある日本にとって大きな電力を生み出せる可能性の高い方法であるという点も魅力的です。

公害を発生させないこと

再生可能なエネルギーであること

純国産のエネルギー資源であること

化石燃料のように枯渇の心配がないこと

季節の変化による影響を受けにくいこと

【デメリット・短所・課題・問題点】

今度は逆にデメリット・短所を箇条書きにまとめてみました。前述の通り、日本は火山を多く有するので地熱発電に向いているのですが、日本全体の総発電量の約 0.2%しか担っていません。メリットも多いのになぜでしょうか。日本においてあまり普及していない理由・問題点は以下の通りです。

温泉への影響・温泉地の景観への影響

国や地元行政からの支援が乏しいこと

発電所が少なく、地熱発電そのものの知名度が低い

候補地の多くが温泉地・または温泉地周辺であること

候補地の多くが国立公園や国定公園に指定されていること

地質調査や発電所建設作業など、実際に発電が始まるまでに長い時間がかかり、コストパフォーマンスが良くない

【推進派と反対派】

まだまだ地熱発電自体が世間一般によく知られているとはいえないため、推進派や反対派の対立などといった話はメディアを通じてあまり聞きませんが、上記の通りメリットがある一方で、デメリットもはっきりしているため、普及が急速に進んでいかないという論もあります。

日本は火山が多く、地熱も十分にあるため、他国と比較しても地熱発電に向いているということが出来ます。しかし、デメリットの項目にある通り、候補地が主に温泉地や観光地となってしまうため、その地元での反対が強くなっています。

仮に原子力発電を廃止する方向に動いていくのであれば、風力発電や太陽光発電と共に、地熱発電の力も今以上に必要になるのは明らかです。ただ、日本が世界に誇る文化の一つとも言える温泉が犠牲となる可能性も否めません。

地熱発電所を造ったことに起因する、温泉の湯量の減少や、湯の質の劣化などといったリスクを地元が受け入れるためにも、国による温泉地への支援や、地熱発電所と温泉地・観光地との共存策が必要となってくるでしょう。

【みんなの意見】

●●地熱発電は火山帯でもある日本に非常に適した発電方法だと思います。常に安定した熱源を温泉地帯では得られているのですから、それらをうまく使えば流水型の水力発電程度の発電量は得られるのではないかと期待しています。

しかし、この発電所を作るにあたり、ある程度の自然を破壊する必要があるという懸念点はあります。そのため、環境に良い発電方法であっても、今はまだ一部の地域を補える程度の発電量しか生み出すことができていないのではないのでしょうか。

地熱発電所もそうですが、波力発電も海に面した日本にとっては向いている発電方法だと思います。小さな発電量だとしても数を揃えられれば大きな発電量になるのですから、地熱発電と波力発電には期待したいです。

●●火山が多い日本では地熱発電が期待を持てるのではないのでしょうか。火山という地震や火山の噴火などの災害対策に注目がありますが、自然の驚異を有益なエネルギーに使うという発想ももっと注目していいと思います。

ご存じの通り、日本中あらゆるところに火山があります。それゆえに地震も多いのですが、発想としては日本のあらゆるところで地熱発電の可能性があると考えられるのではないのでしょうか。低コストで全国どこでも設置できる地熱発電システムが開発されれば、長期的に見ても国にとって有益であると思います。

●●国立公園などに地熱発電所を設けることによって、その自然などが破壊されることを懸念する立場から反対する意見がありますが、これは無視できないでしょう。しかし、現在のわが国は総力を挙げて電力資源を確保する必要に迫られておりますので、環境と両立できる発電所を各地に設けることを考えないといけません。

そこで、国立公園などの一角に地熱発電所を設け、そこを観光拠点として整備してはどうでしょうか。そこを見学してもらうことで、多くの人にエネルギーと環境により関心を寄せてもらえるようにするのです。

●●東日本大震災によって引き起こされた福島第一原発の事故。この事故をきっかけに国内全ての原発が停止し、数年経った今も稼働しているのはごくごく一部のみです。ただ、世論を考えると、このようになるのは仕方ないかなとも思います。

そこで、日本の未来のために提言したいのが「再生可能エネルギーの活用」です。既にあちらこちらで声高に叫ばれていますので、再生可能エネルギーという言葉聞いたことがないという方は少ないと思いますが、水力や風力などといった自然由来の途絶えることのないエネルギーを再生可能エネルギーと言います。

その中でも私が注目しているのは地熱発電です。以前、WOWOW で放送していた「マグマ」という地熱発電所を舞台としたドラマを見て、地熱発電に興味を持つようになりました。もっと発電効率を上げる方法などを考えていく必要はあるかと思いますが、地熱が豊富な日本において、地熱発電は切り札になり得るのではないのでしょうか。

《引用：http://蓄電池.net/》

